

HDL シリーズ

## 必ずお読みください

本紙ではLANDISK「HDL シリーズ」をご使用いただく際のご注意などについて説明しています。必ずお読みになり、本紙を保管しておいてください。本製品のセットアップ方法については、かんたんセットアップガイド（別紙）をご覧ください。

## こんな時には

## 本製品をネットワークに接続した後の使い方が分からない

**対処** [コンピュータの検索]などで「landisk」を検索して、アクセスできます。  
詳しくは、オンラインマニュアルの【使ってみよう】をご覧ください。

## USB ハードディスクを増設したい

## USB プリンタを接続したい

**対処** オンラインマニュアルの【ハードディスクやプリンタを増設する】をご覧ください。

対応 USB 機器については、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) をご覧ください。

## 本製品のより高度な設定がしたい

**対処** 本製品の設定画面から設定できます。  
設定画面の開き方は、オンラインマニュアルの【設定画面を開く】をご覧ください。

## POWER ランプが起動完了の状態にならない（点滅したままである）

**対処** DHCP サーバから本製品の IP アドレスが取得できていません。  
※本製品の DHCP クライアントが on(出荷時設定)に設定されていて、接続したネットワークに DHCP サーバ（ブロードバンドルータやルータタイプの ADSL モデムなど）が見つからない場合は、電源ランプとアクセスランプが点滅します。

接続しているネットワークの DHCP サーバが正常に起動していることをご確認ください。また、DHCP サーバと本製品の組み合わせにより、IP アドレスが正しく取得できない場合もありますので、この場合、本製品の IP アドレスを固定値に設定してご確認ください。方法については、オンラインマニュアルの【DHCP サーバが無い場合】をご覧ください。

## Mac OS から使用できない

**対処** 本製品は、出荷時設定で AppleShare ネットワーク（Mac ユーザー）が off（無効）に設定されています。  
使用できるようにするには、本製品の設定画面で、[AppleShare ネットワーク] を on（有効）にする必要があります。方法については、オンラインマニュアルの【Mac OS で使う場合】をご覧ください。

## かんたんセットアップガイドの通りに接続したが、本製品が使用できない

**対処 1** DHCP サーバから本製品の IP アドレスが取得できていないことが考えられます。  
接続しているネットワークの DHCP サーバ（ブロードバンドルータやルータタイプの ADSL モデムなど）が正常に起動していることをご確認ください。

**対処 2** ネットワーク内に DHCP サーバとなる機器（ブロードバンドルータやルータタイプの ADSL モデムなど）が無いことが考えられます。  
この場合、ネットワークに接続する前に、本製品の IP アドレスを固定値に設定する必要があります。  
方法については、オンラインマニュアルの【DHCP サーバが無い場合】をご覧ください。

## その他、困った時には

**対処** オンラインマニュアルの【困った時には】をご覧ください。

## オンラインマニュアルの見かた

本製品の **■仕様**、**■各部の名前**とはたらき、**■動作環境**、**■より詳しい設定方法** などについては添付の CD-ROM に収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

**Windows の場合** ①添付のCD-ROMをパソコンにセットします。  
②自動で表示されるメニューから、[オンラインマニュアルを読む]をクリックします。  
自動でメニューが表示されない場合は、[マイコンピュータ]などからCD-ROMを開き、Autorun.exeをダブルクリックしてください。

**Mac OS の場合** ①添付のCD-ROMをパソコンにセットします。  
②表示されたCDのアイコンを開きます。  
③MACSTART.HTMをダブルクリックします。

## 使用上のご注意

本製品を使用する上で守っていただきたいご注意です。必ずお読みください。

## 全般の注意

- 動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 動作中に本製品の USB ポートに USB 機器を接続したり、抜いたりしないでください。
- はじめて増設用ハードディスクを本製品に接続して使用する場合は、フォーマットする必要があります。  
※本製品で使用する増設用ハードディスクは、本製品用にフォーマットする必要があります。本製品で使用するハードディスクのファイルシステムと、Windows や Mac OS で使用するファイルシステムが異なるため、すでに使用しているハードディスクをそのまま使用することはできません。フォーマットをするとすべてのデータが削除されますのでご注意ください。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品を DHCP サーバが存在するネットワークに接続しても、正常に IP アドレスを取得できない場合があります。その場合は、本製品の IP アドレスを固定に設定してご利用ください。
- 本製品背面の USB ポートには、対応の機器以外の機器は接続しないでください。（USB ハブも接続できません。対応 USB 機器は、弊社ホームページ <http://www.iodata.jp/> をご覧ください。）
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。  
本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルータを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

## 本製品設定時の注意

- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品に登録可能なユーザ数、グループ数は最大 90 個までとなります。1 グループに登録可能なユーザは 90 ユーザまでとなります。
- ユーザ名とグループ名には同一の名称は使用できません。ユーザ名と共有名、グループ名と共有名は同一の名称が使用できます。
- Web ブラウザで表示されるハードディスク使用領域と Windows からドライブ割り当てしてプロパティから見た使用領域の値が大きく異なります。これは本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側に問題はありません。
- ハードディスクの簡易チェックに要する時間は、本製品とハードディスクの状態により大きく異なります。通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数十分程度の時間を要することがあります。
- ユーザ名とグループ名には数字のみの名称は設定できません。
- コンピュータ名（LANDISK）に、数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。
- 共有名は、スペースは使用できません。
- ブラウザから設定する、共有、グループ名、ユーザ名（小文字のみ）、パスワードはすべて、半角英数字（ASCII 文字）のみが有効となります。
- 本製品を DHCP クライアントに設定後、DHCP サーバが存在しなかったなどの理由で IP アドレスの取得に失敗した場合、「192.168.0.200」に設定されます。IP アドレスを変更する場合は、この値で設定画面を開いてください。
- 本製品の管理者は、すべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。セキュリティのため、定期的にパスワードを変更することをおすすめします。

## Windows で使用する場合の注意

- 本製品にネットワーク経由で接続可能な Windows の端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 16 台までとなります。（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
- Windows 98 から本製品にファイルのコピー中に LAN ケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルが本製品上に残り消去できなくなる場合があります。この場合は、いったん本製品の電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

## Mac OS で使用する場合の注意

- 下記の環境では、名前が 2 バイト文字（全角文字）のファイルやフォルダを共有することはできません。半角英数字で設定してください。
  - Windows ⇄ Mac OS 間で使用する場合
  - Mac OS X (10.2.3 以降は除く) の SAMBA クライアントで使用する場合
  - Mac OS 9.x 以前 (AppleTalk) ⇄ Mac OS X (SAMBA) 間で使用する場合
- 本製品にネットワーク経由で接続可能な Macintosh の端末数は最大 30 台までとなりますが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 8 台までとなります。
- Macintosh で共有する場合、AppleTalk を使用する方法と TCP/IP を使用する方法があります。







## 必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。








### ■警告及び注意表示

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---	---	--












### ■絵記号の意味

 この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例)  「発火注意」を表す絵表示	 この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例)  「分解禁止」を表す絵表示	 この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示
---	--	--

### 警告

-  厳守  
本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
-  分解禁止  
本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  電源プラグを抜く  
本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご確認ください。
  - ケーブルにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
  - 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
  - 給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントに接続しないでください。発熱、火災の恐れがあります。
-  禁止  
電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。
-  厳守  
本製品の接続、取り外しの際は、必ず本書で、接続・取り外し方法をご確認ください。間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。
-  厳守  
本体をぬらしたり、お風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
-  水ぬれ禁止  
ぬれた手で本製品を扱わないでください。感電や、本製品の故障の原因となります。

### 注意

-  注意  
本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
-  禁止  
本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。本製品は製品左右面のアルミパネルから放熱します。アルミパネル周辺に放熱を妨げる物を置かないでください。
-  禁止  
本製品を横置きにしたり、重ねて使用しないでください。本製品を横に置いて使用すると故障の原因となります。
-  禁止  
動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
-  禁止  
本製品の USB ポートにバスパワーの USB 機器は接続しないでください。本製品の USB ポートはバスパワーの USB 機器（USB ポートから電源を取る機器）に対応していません。接続すると故障の原因となります。
-  禁止  
本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。故障の原因となることがあります。
  - 振動や衝撃の加わる場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気やホコリが多い場所
  - 温湿度差の激しい場所
  - 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
  - 強い磁気電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
  - 水気が多い場所（台所、浴室など）
  - 傾いた場所
  - 腐食性ガス雰囲気（ $Cl_2$ 、 $H_2S$ 、 $NH_3$ 、 $SO_2$ 、 $NO_x$  など）
  - 静電気の影響の強い場所
  - 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）
-  禁止  
本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。
  - 落としたり、衝撃を加えない
  - 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
  - 重いものを上にのせない
  - そばで飲食・喫煙などをしない
  - 本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない
-  禁止  
動作中にケーブルを抜かないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
-  禁止  
本製品内部を結露させたまに使わないでください。時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります場合があります。本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。
  - 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
  - ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
  - 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。
-  禁止  
本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。
-  厳守  
動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となります。

- ・ハードディスク内のデータは、こまめにバックアップするようにしてください。
- ・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

修理センターでは、送付された本製品のハードディスク内のデータをすべて消去します。必ず、データをバックアップしてから送付してください。

### ■本製品で使用するハードディスクを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

- ・本製品で使用するハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。
- ・情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

## アフターサービス

### ① 弊社ホームページをご確認ください。

オンラインマニュアルの【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News など」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

<http://www.iodata.jp/support/>

また、ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

### ② それでも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター  
電話： 本社…076-260-3644 東京…03-3254-1144  
※受付時間 9:30~19:00 月~金曜日（祝祭日を除く）  
FAX： 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055  
インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

※日本国内のみのサポートとなります。

### お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

## 修理について

### ■修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

- お客様が貼られたシールなどについて  
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
- 修理金額について  
・保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。  
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。  
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。  
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。  
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。  
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。  
(ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。)

### ■修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

- メモに控え、お手元に置いてください  
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。
- これらを用意してください  
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）  
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。  
・下の内容を書いたもの  
返送先 [住所/氏名/(あれば)FAX 番号]、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OS など）、故障状況（どうなったか）
- 修理品を梱包してください  
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。  
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。  
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
- 修理をご依頼ください  
・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。  
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。  
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

アイ・オー・データ第2ビル

株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

### ■修理品の返送

- ・修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。  
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。